



清水中学校校区  
 児童・生徒健全育成連絡協議会  
 令和4年3月発行  
 発行責任者 建山 正規

日ごろから健全育成連絡協議会活動のご理解とご協力に感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの感染者が熊本で確認されて、早くも2年が経ちました。昨今の今頃とは違って第6波が猛威を振るっている状況です。2回接種したワクチンもオミクロン株にはあまり効かなかったという事でしょうか？今は3回目の接種を待っているような状況ですが、副反応が怖くて接種率はあまり上がらないような気がします。

このような中、本会の今年度の活動は昨年度と同様、屋外の校区パトロールとさわやかフェスタのオンライン配信を実施できましたが、屋内での活動は基本中止という結果になりました。本会ばかりでなく、コミュニケーションの場がどんどん減っていき、人と人との関係が希薄になることを危惧しています。しかしこのような状況ながら、今年度の活動にも皆様からの多大なご支援とご協力をいただき、本当にありがとうございました。新型コロナウイルスの状況はまだまだ予断を許しません、来年度こそは通常通りの活動ができますことを願っています。その際は皆様のご協力、ご支援の程よろしくお願ひ申し上げます。

清水中学校校区 児童・生徒健全育成連絡協議会  
 会長 建山 正規

**【お詫び】**

例年予定されておりました1月の健全育成懇談会、2月の役員会、3月の健全育成指導者研修会及び反省会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度も中止とさせていただきます。

**【家庭教育推進委員会 委員長】**

城北小PTA会長 小奇 友和

コロナ禍2年目となった今年度は、児童・生徒への感染拡大の懸念が生じたことから、早い段階で「さわやかフェスタ」をオンラインによる開催と決め、実施に向けた話し合いを進めることができました。

「さわやかフェスタ」は今年度で20回目を迎える校区が誇る音楽祭ですが、前例踏襲にとらわれず、状況に応じて「オンライン開催」とした昨年の決断がとても大きかったと思います。

本当に開催できるのか？実行委員メンバー自身も不安ではありましたが、昨年の経験は今年自信に変わり、録画配信となった小学校の演奏の様子は、各PTAで撮影しました。

撮影を通じて、楽しそうに合唱・合奏をする児童の様子にも触れることができ、当委員会・PTA活動の神髄を感じることができました。

また、慣れない撮影に向けて、カメラの角度や録画・録音の方法はどうするか等これまで考えもしなかったことに向き合えたことで、PTAにおいても新たな取り組みの可能性を見出し、取り組むこともできました。

「さわやかフェスタ」を、演奏会による地域と小・中・高の交流だけで留めていてはもったいないと感じています。

さらなる取り組みが図れるよう、次年度も活発な委員会となりますことを願います。

**<特集>  
 今年度を振り返って**

**皆さんからの一言**

【健全育成連絡協議会 副会長】

清水中PTA会長 佐藤 公彦

今年度も昨年度に引き続きコロナ感染症が収まる事がなく、日々の生活の制限を余儀なくされた一年となりました。

今年度初めてさわやかフェスタの運営に携わる事が出来た事は大変貴重な経験となりました。沢山の方の協力により、さわやかフェスタを開催、継続出来た事は大変意義がある事ではないかと思えます。出来ない諦めるのではなく、どうすれば出来るかを考える事の重要性を学びました。

防犯パトロールも地域の方々、皆様のご協力により継続する事が出来ました。来年度も制限が続くかと思えますが、色々な方と協力していき、より良い方向に向かっていければと思います。一年間ありがとうございました。



田中

佐藤

小奇

**【家庭教育推進委員会 副委員長】**

麻生田北小PTA会長 高倉 健一郎

麻生田小学校PTA執行部では、対面での議論がままならない状況で、それを好機とらえて持続可能な社会SDGsの考えに賛同し、今年度、リモートでの会議、配布資料のペーパーレス化に取り組んでいます。ICT技術は、コロナ禍も相まって、私たちは日々恩恵を受けております。「さわやかフェスタ」は、今年度も対面での開催が叶いませんでしたが、昨年度に引き続き子どもたちの演技・演奏の様子をYouTube配信にてご家庭にお届けすることができました。

早く感染状況が落ち着いて元のように直接、地域の皆様、保護者の皆様に広く児童・生徒の皆さんの活動を"対面"でお届けできるようになることを切に願っております。

いまだ活動が制限される状況ではございますが、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



高倉

## 【家庭教育推進委員会】

北部東小PTA副会長 田中 敦朗

昨年度に引き続き、コロナ禍に振り回された一年となりました。日程を決めようにも、いつコロナの波が来るかわからない為、家庭教育推進委員会メンバーみんなで頭をひねるしかありませんでした。

その中でも、ぶれなかったのは、さわやかフェスタを開催すること、若者たちの発表の場を確保することでした。

結果として、昨年度に引き続き熊本高専の学生たちの大きな支援を受けて、ICTを活用して発信することが出来ました。

地域の高齢者施設への配信箇所も増え、昨年度よりもスケールアップして実行出来たのは、まさしく地域の力を結集して臨んだからだだと思います。

来年度はこれまでの形で地域の皆さんをお招きして、若者たちの素晴らしい演奏やダンスを生で観れることを祈念して、今年度の振り返りとさせていただきます。

## 【地域連携推進委員会 委員長】

清水中 主幹教諭・生徒指導主事 松永 優三

日頃より地域連携推進委員会へのご協力ありがとうございます。

今年度も、昨年度同様、新型コロナウイルスへの対応に苦慮しながらの運営でした。委員の皆様のご協力で、充実した活動になりました。委員会では、幼稚園、保育園、小学校、中学校、高校のそれぞれの立場から、子どもたちの様子はもちろん、地域の危険個所などを話していただき、連携した取り組みができました。ICTの進化をはじめ、変革の時期を迎えている現状で、これまでは考えられないことも起こりうる世の中です。この連携が

子どもたちの健全な育成の一助となることと感じております。

子どもたちのより良い成長をこれからも見守っていけるよう、今後ともよろしくお願いいたします。一年間、ありがとうございました。



松永先生



熊本高専放送部の皆さん

清水

岩谷

牧

高倉

伊東

境

佐藤

小嵯

田中

## パトロール報告

今年度の校区パトロールにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大（第4～6波）に伴う「まん延防止等重点措置」が適用されるなど厳しい状況にありましたが、「こんな時だからこそ、地域の見守りをしましょう」という思いから、昨年度に引き続き密を避けながら注意して実施しました。

城北校区は「堀川駅前」と「清水中学校正門前」、麻生田校区は「グリーンコープ前」と「麻生田文具店前」を起点に、昨年6月から今年3月まで、昨年8月は大雨警報が継続中で中止となりましたが、計9回、参加が可能な各学校の先生方、保護者や地域のボランティアの皆様と一緒に実施しました。子どもたちへの声かけや校区内の安全点検などを行うことができ、とても有意義な時間になったと思います。

パトロールにご参加いただいた皆様、ご協力本当にありがとうございました。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

## 【環境安全推進委員会 委員長】

麻生田校区青少年健全育成協議会 会長 伊東 貢

今年度は、環境安全委員長の立場で、改めて夜間パトロールに取り組ませていただきました。夏、秋、冬「まん延防止等重点措置」が適用されるなどコロナ禍に翻弄されましたが、中止になったのは大雨警報が出された8月だけでした。皆様の子どもの守りたいという気持ちのあらわれと敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。

当協議会の事務局員として、これまでも毎月できるだけ参加するようにしておりますが、この地道な取り組みを続けていくことは、「継続は力なり」で地域の子どもの健全育成に欠かせないものだ改めて感じているところです。

新型コロナウイルスの感染状況は今後も予断を許さないものがありますが、健康面に配慮しながら、地域の皆様方と交流し、連携を図っていくことは大切だと思います。来年度も、校区の環境安全推進をはじめ当協議会の取り組みに、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 城北小学校校区



### 麻生田小学校校区



## 【編集後記】

当たり前と思っていた日常のありがたみを感じる毎日。当たり前のごことに感謝しつつ、昨年度に引き続き、コロナ禍でも一生懸命に考え工夫しながら、できることを前向きに取り組んでいきたいとの思いで活動した1年でした。

あっという間に3月・・・春の訪れと旅立ちの季節がやってきました。そして、また、新しい出会いや活動が始まります。先を見通しづらい状況ではありますが、色々な方とご縁を大切にしながら、地域の宝である子どもたちのために活動していきたいと思っています。大人も子どもも課題解決力を養いながら前に向かって進み続けたいものです。

最後に・・・コロナ禍のなか、ご自愛のほど心よりお祈りしております。

事務局長 牧 弘子 編集担当者 伊東 貢

